



理事長のちょっと寄り道



「問題意識」

富山県内には「共生型グループホーム」が3か所あります。そのうちの一つが「共生型グループホームらぶあけぼの」です。共生型グループホームは認知症高齢者と知的障害者が一つ屋根のもとで支えあいながら共に暮らすグループホームです。ちなみにもう2か所は何処にあるかご存じでしょうか。入善町にある「双葉」と、朝日町にある「大樹」です。

県内はもとより、福島・新潟・東京・石川・福井・愛知・神戸そしてこの間は九州福岡県からなど全国各地から「らぶあけぼの」への見学者が絶えません。どうやら、富山県のホームページに富山型デイサービスとセットで見学コースとして掲載されているらしいのです。

「あら～よいがになつとるね。」「私もこんなところに入りたいわ」「ハイ、ありがとうございました。」大概の見学者は次に待っているお食事タイムが気になるようです。しかし、先日、八王子市からの見学者は少し違っていました。らぶあけぼのの概要説明の後、次から次へと質問が相次ぎました。

「開設に至った経緯は?」「1階と2階との具体的な交流は?」「共生型にしたメリットは?」「建設時の費用負担は?」「採算的にはどうなのか」「富山型福祉特区とは?」「となみ野はB型事業所が多いが障害の重い人たちはどうしているのか」「重度重複障害の方の支援のあり方が全然見えてこない」「重度障害の人たちのグループホームをつくるつもりはないのか」などなど。八王子市日中活動支援事業所部会(自立支援協議会の1部会組織)7名のメンバーは、明確な見学の目的と問題意識を持っての見学でした。

何事においても問題意識を持つて大切ですね。「どうしてか」「なぜ」「どうしたらいいか」そんな思いをもって相対すると相手も真剣にならざるを得なくなりますよね。

見学の終わりになって名刺を交換しました。いずれも大規模法人の施設長様だったり所長様だったり。思わず出た言葉が「今度はぜひ皆さまのところを見学させてください。」明確な目的と問題意識をもって皆で見学に行けたらいいですね。

おらせ

●社会福祉法人 溪明会の SDS ポスター発表 参加

令和元年度、今年も同じ地域で障害福祉サービス事業を展開されている社会福祉法人溪明会が SDS ポスター発表会を開催され、当法人の手話部メンバーと職員1名の2組が参加しました。

職員の自主的なゼミ活動として、手話部が発足し、活動を重ねてきました。日頃の手話の成果を披露するとともに、その場の方々に音楽に合わせた手話をしたり、手話のいろはをお伝えしました。手話部はスーパーワンダフル賞を受賞しました。また辻職員は、日本財団についての発表を行い、会場の方々との交流を深めてきました。



●福祉作業所 南天桐 休止について



平成18年の事業開始以来、今日まで就労移行支援事業所として、主に一般就労を目指す利用者の支援を行ってまいりました。

しかし、事業を取り巻く制度及び社会環境の変化等により令和2年3月31日を持ちまして事業を休止させていただきましたこととなりました。長年にわたるご厚情に心から感謝申し上げます。

●ご寄付の御礼

12月、富山県幹部職員の方々より、当法人の砺波事業所へ現金10万円のご寄付をいただきました。ご厚意に感謝するとともに、今後、事業所内の利用者の交流事業に活用させていただきたいと思っています。ありがとうございます。

編集後記

雪国かしら! ?と疑うような今年の冬。ほとんど積雪がなく、冬のレジャーの代表、スキーやスノーボードも全く手につくことがありませんでした。暖冬で車を運転するにはとても良かったのですが、雪のおかげで豊かな水源も確保できるはずのこの地球、この先の季節に異変が起きないことを願うばかりです。

広報



となみ野

通誌
第23号
令和2年3月
発行

社会福祉法人手をつなぐとなみ野 〒932-0833 小矢部市綾子 5598 番地 TEL・FAX (0766) 68-3822
e-mail: tonamino@bz03.plala.or.jp http://www.tonamino.or.jp/

ひな人形を寄贈していただきました



令和2年2月13日、サポートぷらすでは、南砺市社会福祉協議会を通じて、ひな人形を寄贈していただきました。

早速、赤い毛氈をだん飾りに敷き、人形を飾ると、利用者は、目をキラキラ輝かせて眺めたり、もらって帰りたいなあとおつづやいたり、びっくりしたりと、さまざまな様子が見受けられました。

また、女性職員は、幼いころの記憶が蘇って会話が弾みました。寄贈していただいたひな人形を通して、物を大事に扱う大切さが利用者にも伝わればいいなと思っています。



活動記録

1月29日 フレンドハウス福光 新年会はおいしかった！

みんな大好きな「くら寿し」で新年会を行いました。前日から食べたい寿司ネタを紙に書き、計算をしました。当日は自分でタッチパネルを操作して注文したり、自分の注文したお寿司が届くと嬉しそうに取ったりと楽しい時間を過ごせました。



2月15日 庄川 カルタ遊び・ホットケーキ作り



仕事がひと段落した登所日にホットケーキ作りと、利用者手作りのカルタをしました。ホットケーキ作りは初めてで、皆どのように作るか興味津々です。ホットプレートできれいに焼けたホットケーキを見て、嬉しそうな利用者も。また、カルタは、利用者が読み札も絵札も自作のもので、さすがに作った本人には有利なカルタでしたが、皆で仲良く取り組むことができました。



2月3日 共生型グループホームらぶあけぼの 節分の豆まき

今年の節分には、職員が「鬼」になり、豆まきを行いました。

例年は、鬼の置物に向かって豆まきをしていたので、今年の臨場感ある鬼に皆、驚くやら、楽しいやら。賑やかな笑い声も響き、福も呼び込んだ節分になりました。



12月10日 メイプル福野 旅川交流会館でのクリスマス会



旅川交流会館での交流事業クリスマス会において、紅白歌合戦を行いました。メイプル福野の利用者も、揃いの衣装で身を包み、自慢の歌声を披露しました。



1月19日 南砺事業所 光龍館でのふれあい餅つき



南砺事業所合同イベント「ふれあい餅つき大会」も第7回を迎えることができました。南砺市社会福祉協議会からの共同募金をいただき、また南砺福野高等学校の生徒さんもボランティアとして参加下さり、盛大に開催しました。

つきたてのお餅は、格別に美味しく、「八方美人」の演奏を聴きながら、高齢者の方々や近所の方々ともふれあい、皆さん笑顔があふれる会となりました。



自主製品のバージョンアップに取り組んでいます

あけぼの第二 大豆菓子のリニューアル



今まで「やわらか大豆菓子」として販売していた大豆菓子のパッケージをリニューアルしました。そして商品名も「ルテ アミ」とフランス語でお茶の友という意味にし、カジュアルに誰でも手に取ってもらえるよう工夫しました。パッケージの女性の絵はイラストが得意な職員が描きました。

北日本新聞にも掲載され、現在、利用者と職員ワゴンチームとなり、この商品を盛り上げていけるよう頑張っています。

油田 商品タグのブラッシュアップ

福祉作業所油田では、自主製品の商品タグを工夫しています。

利用者が描いたイラストを用いたり、タグの形をアレンジしたり、おススメの点を記載したりと、手に取りやすく、わかりやすくとても可愛らしくなっています。

